

研究主題

# 高等学校「家庭基礎」における 課題解決学習の指導に関する研究

「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の指導資料の作成を通して

【研究担当者】 川原 恵 理 子  
【この研究に対する問い合わせ先】  
T E L 0198-27-2814 F A X 0198-27-3562  
E-mail kagaku-r@center.iwate-ed.jp

- 1 はじめに  
この研究は高等学校「家庭基礎」において、「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の指導資料の作成を行い、課題解決学習の充実に役立てようとするものです。
- 2 高等学校「家庭基礎」における課題解決学習の指導に関する基本構想  
本研究を進めるにあたり、高等学校「家庭基礎」における課題解決学習を文献調査（舟木，1992，工藤・内野，1997など）に基づき、教師が生徒に生活課題を見出すことを意図的に仕組み、主体的に生活の課題解決を目指して実践する学習活動ととらえました。  
「ホームプロジェクト」とは生徒自身の家庭生活について、「学校家庭クラブ活動」とは学校や地域の生活について、それぞれの課題を見出し、自ら解決方法を考え、計画を立て、主体的に生活の充実向上を目指して実践する学習活動です。高等学校「家庭基礎」における課題解決学習の指導の充実に役立てるため、「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の指導資料を作成しました。
- 3 指導資料の内容  
指導資料は、課題解決学習の指導に役立てるため、授業での「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の指導・評価に重点をおくことをねらい、作成しました。さらに、ホームプロジェクトの指導段階を、事前・中間・事後指導の三段階に集約しました。指導資料の内容を【表1】に示します。

【表1】指導資料の内容

ホームプロジェクト		学校家庭クラブ活動	
指導段階	指導資料の内容		
事前指導	年間学習指導計画 取組手順や方法 事前指導の要点	「授業活用型」 の指導	研究・広報活動の指導・展開例 ボランティア活動の指導・展開例 交流活動の指導・展開例
中間指導	取組の中間指導方法 短時間でできる発表会		
事後指導	相互評価の方法 事後指導の要点		

#### 4 「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の指導資料

##### (1) ホームプロジェクトの指導資料

###### ア 事前指導資料の一例

ホームプロジェクトの事前指導で活用する指導資料の一例です。教師が生徒に生活課題を見出させることをねらいとして作成しました。指導資料には、教師を支援するために、吹き出しで指導の留意点やポイントを示しました。

### 1 家庭の生活課題チェック表

はいかいいえに をつけましょう

		はい	いいえ
子どもの成長	1	普段から家の手伝いをしている	
	2	家族とのコミュニケーションを大切にしている	
	3	自分の将来を考えている	
	4	子どもの育つ環境について考えたことがある	
	5	家族はみんな健康で元気である	
食生活と自立	6	食べ物の好き嫌いをせず、何でも食べている	
	7	自分でご飯と味噌汁を作ることができる	
	8	地域の食材を使った調理をすることができる	
	9	1日に必要な食品の種類と量が分かる	
	10	冷蔵庫の中は整理整頓されている	
衣生活と自立	11	自分でボタン付けができる	
	12	目的に合わせた衣服の選択をしている	
	13	洗濯の洗剤の量を知っている	
	14	衣服の表示の意味を理解している	
	15	着なくなった服は再利用するようにしている	

家庭の生活課題チェックで、自分の家庭の生活課題を考えさせる

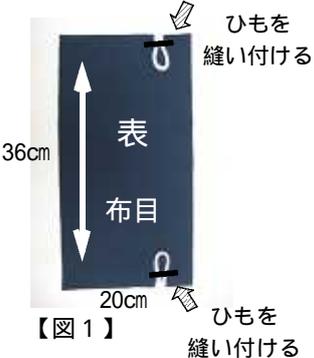
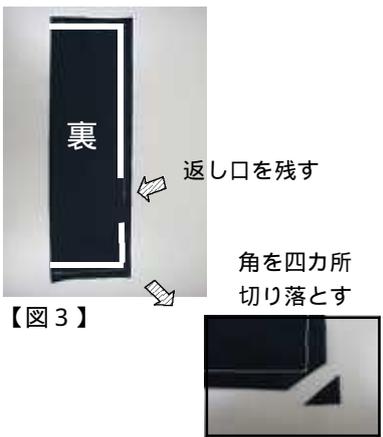
チェック項目は、中学校技術・家庭科家庭分野の四つの学習内容を参考にして五つの領域に分けて構成した





(2) 「授業活用型」学校家庭クラブ活動の指導資料

「授業活用型」学校家庭クラブ活動の指導資料は、指導例と展開例があり、ここでは展開例の一部を紹介します。授業で活用できるように、指導例、指導のねらい、関連する活動・学習内容、準備する教材・教具、製作後の活用、作り方、評価の例を盛り込んで作成しました。

学校家庭クラブ活動の展開例						
指導例	・基礎縫いでカーテンタッセルを製作し、学校や地域生活で役立てる ・ホームルームや特別教室のカーテンの修繕を行う 授業時間：1～2時間					
指導のねらい	基礎縫いでカーテンタッセルを製作し、快適な住環境を整える工夫を考えさせる					
関連する活動・学習内容	研究・広報活動 (2) 生活の自立及び消費と環境 ウ 住居と住環境					
準備する教材・教具	布縦36cm×横20cm 2枚、ひも12cm 4本、ミシン、アイロン、裁縫道具（手縫いの場合は手縫い針と糸）					
製作後の活用	・学校では、カーテンタッセルが壊れたり、紛失したりしたホームルーム・特別教室などで使用する ・地域生活では、幼稚園・保育所や高齢者福祉施設などに寄贈し、使っていただく					
<p><b>作り方</b> （手縫いでもミシンでも製作できます）</p> <p>- 製作の前に - 教室や特別教室のカーテン生地を調べ、カーテンタッセルに適する布、色を考えさせる。余り布や家庭での不用被服で適するものがあれば活用させる。カーテンがほつれていたり、壊れていたりする場合は修繕させる</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 布を裁断する</li> <li>2 布の裏に縫い代1cmの印を付ける。ひも付け位置を確認し、ひもを縫い付ける【図1】</li> <li>3 中表にしてまち針で止め、返し口を残して縫う。縫い始めと縫い終わりは返し縫いをする【図2】【図3】</li> <li>4 角を四力所切り落として、表に返し、返し口を縫う</li> </ol> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>【図1】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【図2】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【図3】</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">完成品</p> 						
<p><b>評価の例</b></p> <p>評価規準は平成25年度入学生から年次進行で実施される学習指導要領に合わせて作成している</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>方法</th> <th>学習シートへの生徒記述</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">評価規準</td> <td>A 快適な住環境を整えるための工夫について、具体的に考えている</td> </tr> <tr> <td>B 快適な住環境を整えるための工夫について、考えている</td> </tr> </tbody> </table>		方法	学習シートへの生徒記述	評価規準	A 快適な住環境を整えるための工夫について、具体的に考えている	B 快適な住環境を整えるための工夫について、考えている
方法	学習シートへの生徒記述					
評価規準	A 快適な住環境を整えるための工夫について、具体的に考えている					
	B 快適な住環境を整えるための工夫について、考えている					

5 おわりに

指導資料は、高等学校「家庭基礎」における課題解決学習の指導に役立てるため、授業での「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の指導・評価に重点をおいて作成しました。研究内容の詳細は、当センターWebページに掲載しておりますので、ご活用ください。